

船舶事故調査報告書

平成29年7月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年5月10日 19時06分ごろ
発生場所	香川県 <small>しょうどしま</small> 小豆島町 <small>ふくだ</small> 福田港 福田港北1号防波堤灯台から真方位216°380m付近 (概位 北緯34°32.5′ 東経134°20.8′)
事故の概要	旅客フェリー第五おりいぶ丸は、航行中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年5月13日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	旅客フェリー 第五おりいぶ丸、1,326トン
船舶番号、船舶所有者等	142165、四国フェリー株式会社
乗組員等に関する情報	船長、四級（航海）
負傷者	なし
損傷	船尾部船底外板に擦過傷、両舷推進器翼に曲損
気象・海象	気象：天気 雨、風向 西、風力 1、視程 約2海里 海象：海上 平穏、潮汐 低潮期 日没時刻：18時56分ごろ
事故の経過	<p>本船は、福田港内をフェリー岸壁に向けて航行中、船長が、入港操船に当たり、航海士を見張りに当たらせていたところ、予定針路線から南方にずれていることを知り、右舵一杯として機関を後進にかけ、船体を一旦停止させた後、予定より遅れて着岸した。</p> <p>本船は、翌日、定期便として航行中、船体の振動が大きくなったように感じられたので船底部の検査を行ったところ、推進器翼に曲損等を生じていることが分かった。</p> <p>船長は、右転して後進にかけた際、浅所に乗り揚げ、乗り切ったと本事故後に思った。</p>
分析	本船は、福田港内を航行中、予定針路線から南方にずれていたことから、船長が右舵一杯として機関を後進にかけたものの、浅所に乗り揚げ、乗り切ったものと考えられる。
原因	本事故は、日没後の薄明時、本船が、福田港内を航行中、予定針路線から南方にずれていたため、船長が右舵一杯として機関を後進にかけたものの、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い水路等を航行する際は、予定針路線の保持に努めること。 ・狭い水路等を航行する際は、避険線を設定し、避険線の外に出ないこと。